

## ミゾイチゴツナギ (溝苺繫ぎ)

名前の意味： 溝いみのような湿みぞった所しめに生えるイチゴツナギの意味。イ

チゴツナギは、花茎かけいにイチゴを刺さして、運さんだので。

分類：双子葉類、イネ科、イチゴツナギ属

(イネ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：湿しめった道ばた

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：細長い葉、垂たれる穂ほ、小さな緑色しょうすいの小穂 (花の集まり)。

種子の運ばれかた：そのまま下に落ちる

花弁の数：離弁りべん、2裂れつ (眼めでみてもよくわからない)

花の時期：4 - 6月

食べ方：食べられない

見分け方：スズメノカタビラは、背が低くて、穂ほが斜め上向き。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度そうごうなんいど ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)